

平成 24 年度は、歴代陸軍参謀総長及び海軍軍令部長の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 <sup>すずき</sup>鈴木 <sup>かんたろう</sup>貫太郎 1868～1948年 《  
—内閣総理大臣として終戦を迎えた提督—



日本海海戦戦闘報告（登録番号：⑨その他-千代田-489）

鈴木貫太郎大將は、明治 22 年 6 月、海軍少尉に任官、その後、連合艦隊司令長官、軍令部長等の要職を歴任し、終戦時には内閣総理大臣を務めました。この史料は日露戦争中、鈴木大將（当時中佐）が第 4 駆逐隊司令として戦った日本海海戦の戦闘報告です。同報告書には、明治 38 年 5 月 27 日午前 5 時 30 分「敵ノ第二艦隊見ユ」との無電を傍受した第 4 駆逐隊の駆逐艦 4 隻「朝霧」「村雨」「白雲」「朝潮」が、同日午後 4 時 43 分「『駆逐艦ハ敵艦ヲ襲撃セヨ』トノ信号ニ接シタレハ直ニ全速十八海里ニテ突進シ今ヤ火炎ヲ起シテ彼ノ艦隊ノ方向ニ敗走シツツアリシ『スウォーロフ』型戦艦ヲ襲撃ス」など、敵艦を求めて追撃する様子が詳細に記されています。



特別大演習に関する件（登録番号：海軍省-公文備考-S2-67-3562）

この史料は、鈴木大將が軍令部長時代に海軍大臣岡田啓介大將に通牒した昭和 2 年 6 月 1 日付の「特別大演習施行ノ件」です。同史料には、昭和 2 年秋季特別大演習施行の御沙汰により、同演習を 10 月中旬から下旬にかけて、「聯合艦隊及其ノ他ノ在役艦船並予備艦船 横須賀、呉、佐世保鎮守府」の各部隊を参加させ、演習第 1 期は「本州及九州ノ沿岸並其ノ沿岸附近海面」で、第 2 期は「沖繩群島ヨリ東京湾附近ニ至ル本州南方海面」で行うことなどが記されています。同演習は、昭和天皇が初めて統裁された演習でもあり、最終日の 10 月 30 日には横浜港外で観艦式が挙行されました。同史料などには、当時の計画や観艦式式場図なども収録されています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）  
外線：03-3713-5912  
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp  
※ 防衛研究所ウェブサイト：http://www.nids.go.jp